

「第2期滋賀県スポーツ推進計画」に基づく施策の実施状況について (国民体育大会・全国障害者スポーツ大会関連施策) (平成30年度実績)

第1 第2期滋賀県スポーツ推進計画の概要

平成27年12月に公布、施行した滋賀県スポーツ推進条例に基づき、平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする「第2期滋賀県スポーツ推進計画」を平成30年3月に策定した。

目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現 ～スポーツで滋賀を元気に！ 滋賀の未来を創る！～

基本方針

- I スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！
- II スポーツの力で「元気な地域」を創る！
- III スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

政策

- 1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実
- 2 スポーツの持つ多様な価値の共有
- 3 スポーツ施設・環境の充実
- 4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化
- 5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大
- 6 地域の特性を活かした大会レガシーの創出

計画期間

平成30年度～令和4年度 (5年間)

第2 施策の実施状況のまとめ（国民体育大会・全国障害者スポーツ大会関連）

【基本方針Ⅱ】スポーツの力で「元気な地域」を創る！

■スポーツ施設・環境の充実（政策3）

【関連する指標の状況】

指標	策定時	R4 目標	進捗状況	達成率
県内公共スポーツ施設の利用者数	6,617,409人(H26)	730万人以上	7,220,884人(H30)	88.4%

【主な施策の実施状況】

- 令和6年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、県立彦根総合運動場の整備や事業用地の取得等を実施した。また、新県立体育館整備、琵琶湖漕艇場再整備やプール整備に向けた取組を進めた。

【評価】

県立彦根総合運動公園の当面の整備に必要な事業用地を取得したほか、第1種陸上競技場の建築実施設計の取りまとめ等を進めることができた。

新県立体育館整備についてはPFI方式による事業実施に向けた取組を、琵琶湖漕艇場再整備については利便性・安全性の向上等が図られるよう設計を実施するとともに、プール整備については草津市と基本協定書を締結した。

【課題】

県立彦根総合運動公園の整備については、周辺住民の意見を聞くとともに、彦根市や競技団体と調整を図り、着実に業務を進めていく必要がある。

新県立体育館整備、琵琶湖漕艇場再整備、プール整備については、事業を効率的かつ着実に実施する必要がある。

■スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化（政策4）

【主な施策の実施状況】

- 高い競技力を持つ企業・大学等12団体17チームを支援対象に指定し、強化事業を実施した。また、医科学サポートスタッフを強化練習会や国体・近畿ブロック大会等に派遣した。

【評価】

支援対象チームから、陸上、バレーボール、ボート、カヌー等の成年種別において入賞することができた。また、医科学サポートスタッフの派遣により、県選手団のコンディション維持に貢献することができた。

【課題】

大学・企業等との連携・協働により、成年選手の競技力の向上を図るとともに、優秀な成績を残せるようなサポート体制を充実していく必要がある。

【基本方針Ⅲ】 スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

■国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大（政策5）

【関連する指標の状況】

指 標	策定時	R4 目標	進捗状況	達成率
国体総合順位	39 位 (H29)	8 位以内	31 位 (H30)	25.8%

指 標	策定時	R4 目標	進捗状況	達成率
県障害者スポーツ大会の参加者数（実数）	773 人 (H29)	1,000 人以上	757 人 (H30)	—

【主な施策の実施状況】

○ 次世代アスリート発掘育成事業として「滋賀レイキッズ 5 期生」を認定し、修了生のうち 16 名を、競技力体験プログラムをきっかけに始めた競技につなげた。また、県内の大学にパラスポーツチャレンジプロジェクトを委託し、知的障害バレーボールチーム創設に向けた練習会を実施した。

【評価】

次世代アスリート発掘育成事業の修了生の中から全国優勝やU-17代表メンバーに選ばれる選手が出ている。また、パラスポーツチャレンジプロジェクトについては、知的障害バレーボールの選手を確保することができた。

【課題】

国体総合順位については、安定的に得点を獲得している競技や獲得得点の大きい団体競技に対する支援などの戦略的な強化が必要である。また、県障害者スポーツ大会の参加者数拡大に向け、大学との連携や総合型クラブを中心とするチーム育成等に取り組む必要がある。

○ 指導体制の充実について、強化拠点校に派遣する優秀指導者を 4 名増員し、全 8 校で強化事業を実施した。

【評価】

優秀指導者の派遣により、レスリングやカヌー競技少年種別で国体入賞につなげることができた。

【課題】

少年種別の競技力向上につなげるために、指導体制を充実させ、優秀指導者派遣対象部の拡大を図る必要がある。

○ 強化拠点の構築等に向けて、拠点校を新たに 15 校 24 部（通算 26 校 59 部）指定した。

【評価】

福井国体では、ホッケー、カヌー、レスリング等の少年種別において、強化拠点校の選手が上位入賞するなどの成果が得られた。

【課題】

選手が安定して競技力向上に取り組み、優秀な成績を残すことができるサポート体制を充実していく必要がある。

■地域の特性を活かした大会レガシーの創出（政策6）

【主な施策の実施状況】

- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備委員会において「開催基本構想」（案）を作成し、両大会の愛称・スローガンを決定した。また、6競技の会場地市町を内定したほか、市町が行う施設整備の支援を行った。

【評価】

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に係る開催準備委員会については、所期の活動を概ね行うことができた。

【課題】

競技会場地はすべての競技会場の内定には至っていないことから、今後も市町、競技団体との調整を続けるとともに、各競技会の開催に向けた準備が円滑に進むよう、市町、競技団体に対する支援を行う必要がある。

資料提供

提供年月日：令和元年(2019年)10月8日(火)
所 属 名：滋賀県競技力向上対策本部
(滋賀県文化スポーツ部スポーツ課)
担 当 者：競技力向上対策室 南野(なんの)
電 話：077-528-3375
E - m a i l : kyogi@pref.shiga.lg.jp

「いきいき茨城ゆめ国体」滋賀県選手団の成績について

9月28日(土)から10月8日(火)まで開催されていた、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」が、11日間の熱戦を終え閉幕しました。

滋賀県選手団は、1位10種目を含む57種目での入賞により、男女総合成績は30位となりました。

選手の皆さんの活躍と、県民の皆さんの応援に感謝申し上げます。

【結果概要】

- 天皇杯(男女総合成績) 30位 870.5点
(H30福井国体31位 854.5点、H29愛媛国体39位 803.5点)
- 皇后杯(女子総合成績) 28位 518.5点
(H30福井国体35位 471.5点 H29愛媛国体42位 442点)
- 入賞数 57種目 ※入賞者一覧は別紙のとおり
(H30福井国体61種目、H29愛媛国体47種目)
- 種別得点 成年248点 少年222.5点 (注:参加点除く)
(H30福井国体 成年187点・少年267.5点、H29愛媛国体 成年244点・少年159.5点)

【結果総括】

- ・ 今大会はバレーボール・バスケットボール・ポート・カヌー・ウエイトリフティング・ライフル競技などにおいて大きな躍進があり、昨年の福井国体を上回る得点を獲得することができ、総合順位でも昨年を上回る結果となった。
- ・ 今年度、強化対策の中心として取り組んだ団体種目において上位入賞が見られたことから、強化対策の成果が着実に表れてきていると認識している。
- ・ 荒天の影響により上位入賞を期待していた成年種別のポート競技が中止となり、得点が獲得できなかったことは残念である。
- ・ 一方で、あと一歩で入賞できた競技や、近畿ブロック大会において僅差で本国体出場を逃した競技などがあることや、少年種別の競技については獲得得点が昨年度を下回る結果となったことから、今後各競技団体で今大会の詳細な分析を行い、2024年の天皇杯獲得に向けた競技力向上に着実に取り組んでまいりたい。

第74回 国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」入賞者一覧

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属	得点	備考
1位	水泳(競泳)	成年女子	200m個人Mドレー	大橋 悠依	株式会社ナガセ	8.0	大会新
	水泳(競泳)	成年女子	100mバタフライ	大橋 悠依	株式会社ナガセ	8.0	
	ボート	少年女子	シングルスカル	落合 陽乃花	厚田東高校	6.5	4艇1位
	ボート	少年男子	ダブルスカル	宮口 大誠 箕田 裕貴	瀬田工業高校	19.5	4艇1位
	ボート	少年女子	ダブルスカル	岡田 美有 北川 真由	高島高校・八幡商業高校	19.5	4艇1位
	バレーボール	成年女子	6人制	井上奈々糸 堀川 真理 大野 果歩 関 菜々巳 白井美沙紀 中田 紫乃 中島 未奈 小川愛里奈 日高 萌 水杉 玲奈 野呂加南子 大崎 琴未	東レアローズ	40.0	
	ライフル射撃	成年女子	10mエアピストル	田畑 実菜	びわこ学院大学	8.0	大会新
	ライフル射撃	少年女子	ビームピストル60発	山森 月乃	水口高校	8.0	
	カヌー	少年男子	スプリント・カヤックペア(500m)	菱田 悠香 山崎 穂	盛田高校・比叡山高校	8.0	
	カヌー	少年男子	スプリント・カヤックペア(200m)	菱田 悠香 山崎 穂	盛田高校・比叡山高校	8.0	
2位	レスリング	成年男子	フリースタイル97kg級	岡田 平	自衛隊体育学校	7.0	
	スポーツクライミング	少年男子	リード	前田 健太郎 伊勢 一真	草津高校	21.0	
	カヌー	成年男子	スプリント・カナディアンシングル(500m)	小堀 孝行	株式会社たねや	7.0	
3位	カヌー	少年女子	スプリント・カヤックペア(500m)	今西 愛依 遠藤 帆夏	比叡山高校・比叡山高校	7.0	
	陸上競技	成年男子	走高跳	瀬古 優斗	中京大学	5.5	
	ホッケー	成年男子		森 海斗 森川 晴貴 井関 涉二 畑野 修平 堀谷 広大 淵澤 隆介 山田 匠 高木 温樹 的場 洗希 大田 区亮 福居 陸希 北村 柊希 戸田 樹 岩山 航大	株式会社森吉・西日本旅客鉄道株式会社・朝日大学・滋賀県庁 公益財団法人滋賀県スポーツ協会・東洋工業株式会社・朝日大学・立命館大学 聖泉大学・朝日大学・大阪シーリング印刷株式会社・朝日大学 立命館大学・立命館大学	48.0	
4位	バスケットボール	成年女子		八木 希沙 阿久根 千尋 小林 結女 久松 なつき 段下 真衣 中田 鈴香 宮崎 翠子 伊藤 さつき 岡田 恵衣 金本 奈々 木村 仁美	滋賀銀行(一社)滋賀県バスケットボール協会	27.5	
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル65kg級	三多見 明	日野高校	5.5	
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級スナッチ	岡崎 龍聖	盛田高校	6.0	
	ウエイトリフティング	少年男子	+102kg級スナッチ	新宅 陽大	安曇川高校	6.0	
	ウエイトリフティング	少年男子	+102kg級クリーン&ジャーク	新宅 陽大	安曇川高校	6.0	
	馬術	成年男子	国体総合馬術	谷口 真一	水口乗馬クラブ	6.0	
	カヌー	少年女子	スプリント・カヤックペア(200m)	今西 愛依 遠藤 帆夏	比叡山高校・比叡山高校	6.0	
	水泳(競泳)	少年男子A	200mバタフライ	十亀 正輝	八日市高校	5.0	
	セーリング	少年女子	レーザーラジアル級	須田 美実子	藤所高校	5.0	
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級クリーン&ジャーク	大塚 和	びわこ成蹊スポーツ大学(職員)	5.0	
ウエイトリフティング	成年男子	108kg級スナッチ	尾添 勇平	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	5.0		
ウエイトリフティング	成年男子	108kg級クリーン&ジャーク	尾添 勇平	公益財団法人滋賀県スポーツ協会	5.0		
弓道	成年男子	遠的	西脇 真人 谷口 和幸 下司 惲太	公立早賀病院・株式会社ダイフク・長浜信用金庫	15.0		
ボウリング	成年男子	個人戦	千葉 鉄也	日本郵便株式会社	5.0		
ライフル射撃	成年女子	R3×40	猪飼 風音	株式会社たねや	5.0		
カヌー	少年男子	スプリント・カヤックフォア(200m)	辻 航大 川端 仁太 空川 昂志郎 名越 崇作	八幡商業高校・八幡商業高校・大津高校・盛田高校	15.0		
5位	陸上競技	少年女子	やり投げ	木村 玲奈	近江高校	4.0	
	ボート	少年男子	舵手付きクオドルブル	深田 健太 賢田 達人 平尾 竜輝 野村 裕貴 山田 宗一郎 吉田 良平	瀬田工業高校・藤所高校	12.5	
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル77kg級	影山 大洋	公益財団法人滋賀レイクスターズ	2.5	
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル87kg級	藤井 達哉	青山学院大学	2.5	
	レスリング	少年男子	フリースタイル80kg級	池田 琢磨	日野高校	2.5	
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル51kg級	神宮 寛生	日野高校	2.5	
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級クリーン&ジャーク	岡崎 龍聖	盛田高校	4.0	
	カヌー	成年女子	スラローム・カナディアンシングル(25ゲート)	小杉 花	八日市南高校	4.0	
	カヌー	少年男子	スプリント・カヤックフォア(500m)	辻 航大 川端 仁太 空川 昂志郎 名越 崇作	八幡商業高校・八幡商業高校・大津高校・盛田高校	12.0	
	ボウリング	成年男子	団体2人チーム	伊吹 太陽 千葉 鉄也 福井 健太郎 岡塚 悠 茶木 陽成 藤本 蒼生 江藤 一学 栗田 晴輝 桑田 彪吾 能祖 翔夢 八木 健太郎 田中 裕人 深田 真治 藤 風海也 河村 佳祐 西村 颯馬 秋元 翔衣 猪飼 悠矢	株式会社ユエーイング・日本郵便株式会社 光泉高校	12.0 20.0	
6位	陸上競技	少年男子	共通800m	齋藤 暉斗	甲西高校	3.0	
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級スナッチ	大塚 和	びわこ成蹊スポーツ大学(職員)	3.0	
	ライフル射撃	少年男子	ビームピストル60発	柏木 秀喜	水口高校	3.0	
	カヌー	成年男子	スプリント・カヤックシングル(500m)	新岡 浩陽	公益財団法人滋賀レイクスターズ	3.0	
	カヌー	成年女子	スラローム・カナディアンシングル(25ゲート)	小杉 花	八日市南高校	4.0	
7位	カヌー	成年女子	スラローム・カナディアンシングル(15ゲート)	小杉 花	八日市南高校	2.0	
	カヌー	成年女子	スラローム・カナディアンシングル(15ゲート)	小杉 花	八日市南高校	2.0	
	スケート	成年女子	フィギュア	安原 綾菜 野口 望々花	関西大学・関西学院大学	6.0	
8位	水泳(競泳)	少年男子A	4×100mMドレーリレー	下村 聖太 山本 聖蓮 古川 裕基 司剛 颯	藤所高校・近江兄弟社高校・比叡山高校・近江兄弟社高校	1.0	
	馬術	成年女子	ダービー	谷口 Lおり	水口乗馬クラブ	1.0	
	弓道	少年男子	近的	木原 裕登 下司 惲太 植村 修史	彦根西陸高校・長浜北高校・湖南商業高校	3.0	
	カヌー	成年女子	スラローム・カナディアンシングル(15ゲート)	小杉 花	八日市南高校	1.0	
	カヌー	成年男子	スプリント・カナディアンシングル(500m)	小堀 孝行	株式会社たねや	1.0	
	スケート	成年男子	フィギュア	時田 幸輔 辻村 岳也	岡谷大学	3.0	
	スケート	少年男子	フィギュア	本田ルカス陸奥 小林 華	徳羽高校・仰木中学校	3.0	
	合計	天皇杯 30位 皇后杯 28位 得点合計870.5点(競技得点470.5点 参加得点400点)					470.5
入賞数 57種目(平成30年度 福井国体 61種目)							